



民政 八尋 伸二

情報を制するものは 都市間競争を制す

一 より良い情報提供について
本市のホームページはトップページ全面が市内の風景画像となっており、他市と比較して斬新ではあるものの、非常に使いにくいとの意見が市民から出されている。本市のホームページのコンセプトは何か。また、今後リニューアルや見直しをする予定はあるか。

答 シティプロモーションの観点から、水や緑の山並みをイメージした配色とし、写真を大きく使い、本市の魅力を最大限発信できるデザインとした。委託契約は平成32年1月までで、後はウェブプランケットを利用し、誰にとっても使いやすい、探しやすいホームページであるのか調査し改善していく。

二 外国籍児童・生徒への支援について
本市の小・中学校における外国籍の児童・生徒は何人か。
本市の外国籍児童・生徒数は、平成23年度より280人前後で推移し、27年度から減少傾向で30年4月現在227人が在籍している。

要望 支援は上智大学短期大学部の学生など、ボランティアに支えられている。大学側にメリットのある連携や情報発信を要望する。



より使いやすいホームページへの見直しを



緑水クラブ 木村 眞澄

表丹沢の未来へつなぐ 魅力ある観光施策の実現を

一 観光資源としての表丹沢の活用について
新東名高速道路開通に伴う、秦野SA(仮称)スマートICの設置により、交通アクセスが向上し、今後さらに人の流れの増加が見込まれる。このチャンスを最大限に生かし、民間事業者とも連携した、ロープウェイなどによる表丹沢への新たなアプローチづくりと、道の駅整備に取り組むべきと考えられているが、市長の考えはどうか。

答 議会をはじめ、市民にも意見を聴く中で、まずは表丹沢全体を舞台にした構想を策定したい。

二 児童・生徒の健全育成について
登下校時の重い荷物が子どもに過剰な負担となっている。宿題で使わない教科書などは教室に置いて帰る「置き勉」について取り組んでほしいが、どうか。

要望 巡回教育相談事業については、いじめ・不登校の未然防止や早期対応につながっているため、



公明党 山下 博己

教職員の多忙化問題は深刻であり 即効性のある対策を急げ

一 教員の働き方改革について
平成28年の文部科学省の教職員勤務実態調査を受けて行った、本市での調査の結果と今後の取り組みはどのようか。

答 過労死ラインの週60時間以上勤務が小学校で39%、中学校で47%と決して看過できない深刻な結果であった。今後は策定した学校業務改善方針に沿った3年間の推進期間で集中的な改善を進める。

二 街路灯のLED化について
防犯灯のLED化は大きな省エネ効果があったため、今回、街路灯についてもその効果を試算してもらったが、その内容はどうか。



創泰クラブ 谷 和雄

出産・子育て・若者世帯に対する 適切な支援に努めよ

一 出産・子育てにやさしい取り組みについて
秦野赤十字病院の分娩再開が望まれている中、平成30年4月の診療報酬改定で新設された妊婦加算により妊婦の外来診療時の負担が増えた。加算は少子化対策に逆行しており、出産への意識が低下する懸念があるがどうか。

答 加算による経済的負担への心配は、子ども食堂について質問した。ほか、子ども食堂について質問した。

配から産婦人科以外の診療科への受診控えなどがあり、厚生労働省が制度見直しの検討を開始したと報道されたが、本市では報道にあるような内容の相談はない。

二 住宅環境について
上地区には「※さと地共生住宅開発許可制度」があるが、上地区居住希望者の利用促進につながるよう制度を見直してはどうか。

答 新東名高速道路秦野インターチェンジ(仮称)の設置を踏まえ、制度を見直す時期であり検討する。

要望 上地区など本市の西部域は西の玄関口として期待されており、土地利用促進に努めてほしい。



本市の資源である表丹沢を生かした観光施策を



教職員の多忙化解消に向けた対策を



緑水クラブ 横溝 泰世

個々の障害特性に注視し 誰もが社会参加できる共生社会の実現を

一 障がい者雇用の今後について
平成25年に改正された障害者雇用促進法が30年4月に施行され、追加されるなど、今後、労働力の確保や生産性の向上が期待されている。このように障がい者を取り巻く環境が大きく変化する中、多くの中央省庁で、障がい者雇用率算定の不正や誤りが発覚し、本市においても雇用率の算定に誤りがあつたことが報告された。率先して推進すべき立場である行政において、このような事態となったことは非常に残念である。障がい者雇用については個別の障害特性を踏まえた対応が必要であるが、どのような環境整備を図るのか。

答 現在、15人の障がい者を採用しているが、法改正に伴って障害特性の基準が大きく変わっており、受験に向けた環境整備とともに、幅広い特性のある障がい者個々に適した業務内容なども考慮し、採用につなげたい。



地域力・市民力を生かす環境づくりを



妊産婦への支援充実を (写真は、おめでた家族教室の様子)

二 地域コミュニティの活性化に向けて
現代化における地域コミュニティは希薄化しており、自治会を中心に加齢率が低下傾向にあることは、防災など相互扶助の観点から、地域社会における活力低下の一因となっている。誰もが寄り添い、支え合って生きることができ、社会を再構築するため、各地に拠点や施設を設け地域力・市民力を生かす環境づくりに努力したい。

議会の動向

- 11月 20日(火) 議案送付
- 22日(木) 議会運営委員会 【傍聴者数1人】
- 議会基本条例検証委員会
- 26日(月) 追加議案送付
- 27日(火) 市議会第4回定例会開会 【傍聴者数2人】
- 議会運営委員会
- 議会報編集委員会
- 議会基本条例検証委員会
- 30日(金) 本会議(議案審議)
- 12月 4日(火) 議会運営委員会
- 総務常任委員会
- 5日(水) 予算決算常任委員会(総務分科会) 【傍聴者数2人】
- 文教福祉常任委員会(文教福祉分科会)
- 6日(木) 予算決算常任委員会(環境都市分科会) 【傍聴者数5人】
- 10日(月) 議会運営委員会
- 本会議(一般質問) 【傍聴者数36人】
- 11日(火) 本会議(一般質問) 【傍聴者数16人】
- 12日(水) 本会議(一般質問) 【傍聴者数5人】
- 代表者会議
- 議会基本条例検証委員会
- 18日(火) 議会運営委員会
- 予算決算常任委員会
- 市議会第4回定例会閉会 【傍聴者数2人】
- 臨時議員連絡会
- 議会運営委員会
- 議会報編集委員会
- 21日(金) 秦野市伊勢原市環境衛生組合議会第4回定例会
- 1月 16日(水) 代表者会議
- 議員連絡会
- 議会報編集委員会
- 2月 6日(水) 議会報編集委員会
- 議会基本条例検証委員会
- 15日(金) 議員連絡会
- 議会基本条例検証委員会

用語解説 ※妊婦加算…妊婦や胎児に配慮した適切な診察を受けられるようにするため、病名や診療科にかかわらず、妊婦が医療機関を受診した際に医療費に上乗せされる。平成31年1月1日から凍結 ※さと地共生住宅開発許可制度…上地区の少子高齢化、人口減少対策の一つとして、里地里山の魅力ある地域資源を生かした住宅の建設を認め、市街化調整区域にふさわしい土地利用を図る制度